

<別紙1>

第三者評価結果報告書

①第三者評価機関名

ソキウスコンサルティング株式会社

②施設・事業所情報

名称：キンダーガーデンやまと	種別：保育所（認可保育所）
代表者氏名：鈴木恵子 園長	定員（利用人数）： 75名（74名）
所在地：〒242-0021 神奈川県大和市中央6-1-5	
TEL：046-200-5810	ホームページ：https://www.shinkou-kai.jp/
【施設・事業所の概要】	
開設年月日 平成26年4月1日	
経営法人・設置主体（法人名等）：社会福祉法人新考会	
職員数	常勤職員： 12名 非常勤職員 3名
専門職員	園長 1名 保育士 2名
	保育士 11名 (事務職員) 1名
施設・設備の概要	(居室数) 事務室、クラ室、 (設備等) 鉄筋コンクリート造
	一時預かり室、給食室 計6室 敷地面積(298.49㎡) 冷暖房完備

③理念・基本方針

「理念」子ども達の成長を見守り、足跡を未来につなげる。～君たちの足跡を残したい。～

「基本方針」社会の変化と子ども達の育っていく環境はめまぐるしい程の変化をしています。日本の国内にとどまらず、世界に広がっていく社会環境の中で適用できる子どもとして育っていけるよう子ども達の育っていく道すじをしっかりとみつめながら、「環・食・知」をバランスよく育てていきたいと思ひます。

④施設・事業所の特徴的な取組

- ・キンダーガーデンやまとは平成26年に大和市に開設されました。大和駅より徒歩7分という交通の便利なところに位置しています。
- ・近隣には大和警察署があり、当園児が見学に行きパトカーに乗せてもらったりしています。周辺は住宅地と商業施設が混在しているエリアですが、周辺には、大小多数の公園があり、自然環境に恵まれ、戸外遊びをするには好立地な園です。

施設の特徴的な取り組みは以下の通りです。

- ・はだし保育を取り入れることで、土踏まずの形成促進や、足の裏の刺激による体全体の成長を促している。
- ・子ども達の意見や会話を大切にし、行事内容を子ども達と一緒に作り上げる。
- ・園外散歩を通して、地域の人との交流や、体力の向上を進めている。
- ・個人絵本を購入していただき、保育の中に取り組みむことで、絵本に親しむこと・自分の物を大事にすることを育てている。
- ・0歳児は、乳児用ノートの活用。1～5歳児（卒園まで）個別連絡ノートの活用。毎

<p>日の様子等を保護者とやりとりすることで、連携をより密にしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・親子陶芸・うQ講座等の地域子育て支援に関する取り組みを行っている。 ・栄養士による月1回の食育講座 ・看護師による健康教育
--

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	令和3年8月1日（契約日）～ 令和4年3月11日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審期）	2回（平成28年度）

⑥総評

<p>◇特に評価の高い点</p> <p>1. 家庭環境を踏まえ、子ども一人ひとりの将来を見据えた育ちを大切にしています。</p> <p>乳幼児期に、意欲を持って積極的に自ら学び、人と交わり、興味を持ったことに集中し持続することができる「学びに向かう力」を育むことを大切にしています。「学びに向かう力」を育むことが卒園以降の学習に大きな影響を及ぼすことから、特に年長児には「幼児期までに育て欲しい10の姿」をしっかりと意識し、子どもの就学以降の姿を見据えて保育に取り組んでいます。当園では、一人ひとりの家庭環境・発達状況等を踏まえ、子どもが育っていく道筋をしっかりと捉え、成長という足跡を未来につなげるよう努めています。</p> <p>2. 職員は、チームワークを発揮して互に助け合い、子どもの成長をしっかりと後押ししています。</p> <p>職員は互いに連携・協力し助け合い、チームワークを発揮しながら子どもの成長をしっかりと後押し、保育の向上に努めています。今回の訪問調査においても、多くの職員がこのことを心に留め、日々の保育に臨んでいることがヒアリングなどから確認できました。また、保護者アンケートの結果でも「職員の対応」に関する項目は高く評価されています。その背景には職員間の連携・協力、良好なチームワークがあり、引き続きこの体制をしっかりと維持・継続・発展して行くことを期待しています。</p> <p>3. 食事の楽しさを通してきめ細かな食育活動を実践しています。</p> <p>家族や友達との関りを通して、豊かな食の体験を積み重ね、楽しく食べる体験を通して、食を営む力の基礎を培う「食育」が重要であるとの認識の下、年間の食育計画を作成しています。食育を教育と捉え、全体的な計画の5領域と連動させて「食の5領域」を掲げ、食育に取り組んでいるのが当園の特徴です。日々の食事においては、調理の職員が日常的に保育に関わっており、調理員と保育士が信頼関係で結ばれています。月1回の食育に関する啓蒙、更には健康教育や「ほけんだより」等で食育の環境を整え、子どもの成長を支援しています。</p> <p>◇改善を求められる点</p> <p>1. 園全体としてコミュニケーション力のさらなる向上が期待されます。</p> <p>今回実施した保護者アンケートでは「園と保護者の話し合いの機会について」保護者の満足度は相対的に低い状況にあります。今後は、組織全体のコミュニケーション力の向上をより一層図っていくことが必要と考えます。コロナ禍にあって多くの行事の中止はやむを得ないと考えていますが、保護者の要望や思いをしっかりと受け止め、可能な限り代替案を用意し、相互の理解、協力体制を地道に構築することが求められていると考えています。地道かつ継続的な努力が期待されます。</p>
--

2. 「災害への備え」に終わりはありません。

現在、当園は地震と火災を主な事象とし、毎月災害時における避難訓練を実施しています。訓練の都度新たな反省点が見つかり翌年の年間計画に反映し災害防止に努めています。昨今は集中豪雨等の風水害による被害も大きな脅威となっており、多数の事象への対応が求められています。しかしながら一つ一つの事象に対応することは困難です。従って「事前に防ぐ」だけでなく、災害が発生しても早期に復旧できる復元力も求められています。災害時対策にこれで十分ということはありません。今以上に臨機応変に対応できる仕組みづくりが期待されます。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

第三者評価受審にあたり、一つ一つの評価項目を確認する中で、改めて保育の見直しをする良い機会となりました。外部から見て頂くことで、見えていなかった部分が見えたりしました。また、理解していると思っていた事が具体的に理解していなかったり、別の捉え方で見えていたことに気付いたりしました。今回の第三者評価結果をもとに日常の保育の在り方などを職員と話し合い、今後の保育の質の向上に向け研鑽を重ねていきたいと思えます。また、保護者の皆様から頂いたご意見は真摯に受け止め、職員と共有し改善に努めていきたいと思えます。最後に、第三者評価の受審にあたりご尽力いただいた評価機関の皆様、ご多忙にもかかわらず利用者調査にご協力いただいた保護者の皆様に心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり